

2班 ワークショップ内容

人	まちづくりは理くつではなく人と人とのつながり、連帯感をつくること
	向こう三軒両隣「きずな」で結ばれた地域社会づくり
	各地域の自治組織を確立(町内会単位でも可)
	1人1役
	「協働」の定義
	協働
	できるだけ多くの市民が参加(参画・・・)できるようなしくみ。 (世代、性別、職域、地域などの垣根なく)
	男女共同参画
	人づくり
	まちづくりは「人づくり」。人(リーダー)を育てなければならない。
	リーダーよりも調整役(コーディネーター) $A + B = C$ を生み出す力
	各地に存在する有名人を広く皆にアピールして欲しい。(人作りの重視) 田舎のヒーローネットワーク作り
	人づくりの為の教育(小・中・高校生)変な大人を造らないために
	モラルの向上、マナーの向上、人として・・・
	市民レベルの防犯対策
まちづくりを進めるリーダー或いは世話役の足をひっぱてはならない。	
心	豊かな心(おもいやりの心)
	まちづくりは人と人との関係、お互いの思いやりが大切
	なにより、どんな人にも、どんな地域の人にも平等な条例である必要があるので、 広い視野と耳を傾けて行きたい。
	地域への深い理解。広い視野、知識。
	参加して、よかった。またやりたい。仲間を集めたい・・・といった充実感、達成感 満足感を伴う活動
	外から来た人にやさしいまち(市外から来た人達も定住しやすいまち)
	家族を大切にするまち 最小の社会の単位
	効率をあげる事ばかりを考えない。
交流	サービスをしてもらうだけでなく、何でもよいから人に何かサービスをしてあげる ようにする仕組みづくり 脱受け手
	そこに住む人達全員の参加が必要
	川、海、山を通じた地域間交流を 上流対下流
	地元でお金を使えるようにする。地域内で経済的な交流がなくなっていないか。 それに人的交流も比例しないか。
	脱パチンコ パチンコに行っている人の1割を地域へもどす。
	中央ばかりでなく新しく市民になった人達と調和するために、多くの交流を持ちたい。 (とかく中央の意見に従わさせられるので)
	交流人口の拡大。人々が立ち寄れる「まち」創出
	歩いている人が多くなるように。車の移動だとコミュニケーションが断たれるから。
	世代間交流
	公共交通に対する理念の確立

地域の 歴史文化	地域の伝統、文化、おいたち
	ふるさとの特性、伝統を大切に誇りに思える市民性の育成 (例えば方言や伝統行事、特産品等)
	歴史的文化の保存(保管)
	景観保全、景観保護
	森林資源の保護と環境美化
	自然(農業、漁業、観光)や歴史(観光、文化)を活かす(生かす)まち
	シンボル作り 例:市庁舎 たとえば東京都庁みれば、住民だけでなく全国の人が何かわかる。
	産業振興と文化振興
情報	情報公開、情報共有…
	情報の共有 市の仕事に関する情報を分かりやすく提供する
	情報の公開、提供 幅広い地域が1つになるのはむづかしい。 しかし、いろいろな地域の輝きを同じ市民として共有していけたら嬉しい。
	説明責任 事務事業の企画立案、実施、評価の内容、効果を住民に分かりやすく説明する。
	住民のニーズに対応するための情報集積的機関の整備
その他	何より合併が市民にとって不具合であってはならない。しかし、市民もゆずり合う心、 自分の出来る事は自分達での自立心が大切
	市政の状態について市民が気軽に声を出せる制度にして欲しい。
	地域審議会(協議会)の設置。恒久的設置とする。
	行政は市民の前で約束した事、又、話した事をくつがえさないでもらいたい。 やむを得ぬ場合は納得のいく説明をする。
	議会議員の地域特性化(分散化)にしたい。
	途中でやめる権利のルール化。その場合の対処？
	税金を払わされている 税金を払いたい(投資したい)と思いたくなるような
	オンリーワンとナンバーワンとのバランス
	今は日本一じゃなくても30年後に良いまちだなあ。と思えればいいなあ。 長く住める。住み続けることができるまち
危機管理体制の確立(災害予防を含め)	

発表より補足

- ・人 リーダーづくり
次世代につなげる人づくり
- ・心 豊かな心を育てる
- ・交流 内側の交流はもちろん、外との交流
住みたくなるようなまちづくり
- ・地域の歴史文化 未来に向かってシンボルづくり
- ・情報 キーワード 「発信」「公開」「共有」